

高エネルギー水の制菌効果テストデータ



都市拡業株式会社

本 社 横浜市南区三春台 25 番地

〒232-0002 TEL 045-231-1686(代)

FAX 045-252-8478

E-mail info@biowater.co.jp

水の制菌比較効果データ

以下の要領で4種類の水の制菌効果の比較テストを行ないました。

1. 試料

期 間 : 平成12年3月の6日間

(報告書提出日 3月23日)

場 所 : 神奈川工科大学

試験者 : 澤井 淳(神奈川工科大学応用化学科助手－平成12年3月現在)

試験水 : ①高エネルギー水

(水道を 10 分流した後、ザ・バイオウォーターを取付け、約2l/min で流し
10 分後の水を採取した水)

②水道水

③蒸留水

④滅菌蒸留水

2. 試験方法

①から④の試料水、それぞれに滅菌済みの2個のビーカーを用意し、500ml 入れた。

一つはアルミ箔で蓋をし、もう一つは蓋をせず、室温にて放置した。ただし、①のビーカーと他のビーカー(②、③、④)は、3m 程離して置いた。

毎日、試料水を少量サンプリングし、一般生菌数を測定した。寒天培地には、標準寒天培地(栄研化学)を使用し、コロニーカウント法により行なった。

3. 結果

別紙の通り。

また、アルミ箔を付けた場合は、③以外は菌は検出されなかった。

③は、もともとボトルに菌がいたものと考えられる。

平成 12 年 3 月 23 日

報 告 書

神奈川工科大学応用化学科
澤井 淳

1. 試 料

- ① 活水処理後の水道水(活性水) : 水道を 10 分間流した後、装置を取りつけ、約

2l/min で流し、10 分後の水を採取した。

- ② 水道水
③ 蒸留水
④ 減菌蒸留水

2. 試験方法

①から④の飲料水、それぞれに減菌済みの 2 個のビーカーを用意し、500ml 入れた。1 つはアルミ箔で蓋をし、もう一つは蓋をせず室温にて放置した。

ただし、①のビーカーと他のビーカー(②、③、④)は 3m 程離して置いた。毎日、飲料水を少量サンプリングし、一般生菌数を測定した。寒天培地には、標準寒天培地(栄研科学)を使用し、コロニーカウント法により行った。

3. 結 果

別紙の通り。

また、アルミの蓋をつけた場合は、③以外は菌を検出されなかった。

③はもともと、ボトルに菌がいたものを考えられる。

別 紙

水の種類	設置時	1日後	2日後	3日後	4日後	5日後	6日後
高エネルギー水	0	0	0	0	0	0	0
水道水	0	0	0	0	0	3,000	8,000
蒸留水	500	1,000	13,000	14,000	21,000	20,000	26,000
滅菌蒸留水	0	0	0	0	0	0	0

(単位 : 生菌数 個/ml)

